

ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年9月前半）

1. 経済

- 2014年8月のインフレ率は年率0.6%（前月は同1.0%）。（3日付プレスリリース）
- 世界経済フォーラムが発表した2014年の国際競争力ランキングにて、ルクセンブルクは144カ国中19位（前年は22位）。（9日付統計局プレスリリース）
- カーゴルクス社、6月より開始された週2便のルクセンブルク・鄭州（中国）間の定期便の成功を受け、9月3日から、週3便目となるフライトを就航させる旨発表。（5日付ヴォルト紙電子版）
- OECD、「図表で見る教育(Education at a glance) 2014」を9日に発表。ルクセンブルクに特徴的な点として、①居住人口の中等教育課程修了率がOECD平均より低い②外国語教育時間が非常に長い③教員1人当たりの生徒数が最も少ない国の一つ④幼児教育、基礎教育及び中等教育への公的支出が最も高い、等。（9日付教育省コミュニケ及びヴォルト紙電子版）
- 2014年第2四半期の被雇用者数は、前期比+0.5%、前年同期比では+2.3%。前年同期比では、特にIT及び通信セクターにて被雇用者数が伸びた。なおユーロ圏では、同値は前期比+0.2%、前年同期比+0.4%。（15日付統計局プレスリリース）

2. 金融

- BIL、2014年上半期の収益は281百万ユーロ（前年同期比+9%）、純利益は67.7百万ユーロ（同+0.68%）。（3日付ペーパージャム誌電子版）
- ルクセンブルク証券取引所、台湾証券グレタイ売買市場と、人民元の国際化、証券上場の簡易化、及び情報交換といった分野での協力強化に向けた覚書に12日にルクセンブルクで署名。（15日付ルクセンブルク証券取引所プレスリリース）

3. 政府

- グラマーニャ財務相、金立群（JIN Liqun）中国財務部アジア・インフラ投資銀行設立準備ワーキンググループ長と1日にルクセンブルクで会談。（2日付財務省コミュニケ）
- グラマーニャ財務相、仏との二重課税防止条約の追加的合意書に5日にパリで署名。（5日付財務省コミュニケ）

- グラメーニャ財務相、パリ政治学院にて欧州経済及びルクセンブルクの税に係る透明性に関する講演を5日に実施。(8日付財務省コミュニケ)
- グラメーニャ財務相、11日から13日にかけてミラノを訪問し、ASEM財務相会合、非公式ユーログループ、EU財務相会合、及びシンクタンクであるEurofiによる金融フォーラムに出席。(15日付財務省コミュニケ)
- シュナイダー副首相(兼経済相)、ジュネーブにて欧州宇宙機関が開催した、欧州宇宙関連協力50周年を記念する式典に12日に出席。(15日付経済省コミュニケ)
- ベテル首相(兼メディア・通信相)、当国南西部のFonds-de-Grasにおける映画撮影を13日に視察。(15日付政府広報)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。